

健診やレセプトデータ等のビッグデータの解析による 地域の実情に応じた最適な健康サービスの実証事業

- ・神奈川県の県西地区は、脳血管疾患・糖尿病・胃がんの死亡率が、県内で最も高い。
本実証事業では、保険者が推進している保健事業(データヘルス計画策定)と協調し、地域の健康状態について関連データを活用した見える化を行い、地域内外にある各種健康サービスを活用した適切かつ具体的な予防・健康増進施策の検討を行う。
- ・地域の健康状態の見える化について、特徴は以下の2点である。
 - ① 地域(小田原市国民健康保険)と職域(日立健康保険組合に加入する小田原地区事業所)の連携
 - ② 地域の健康・生活習慣の実態把握のために、健診・レセプトデータ活用のみでなく、仮説に基づくアンケートや食事データ(写真)も活用した原因解析を実施

